2027年3月期第2四半期
決算短信補足資料

2026/11/12

オカダアイヨン株式会社（東証プライム 6294）

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

01 業績サマリー（27/3期2Q）

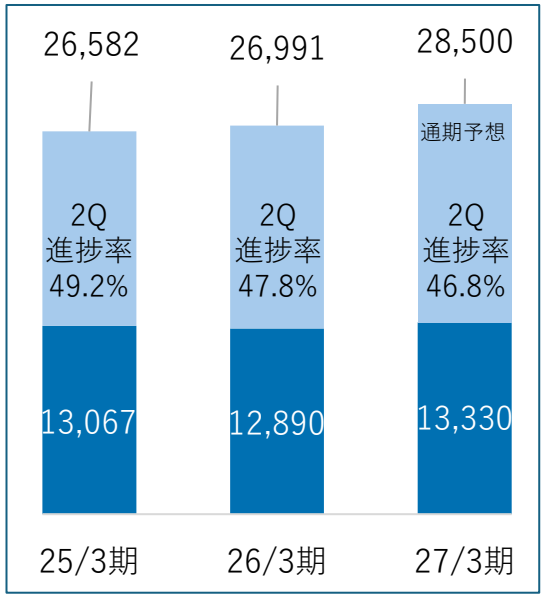
売上高 13,330 百万円（前年同期比 +3.4%）

営業利益 1,218 百万円（前年同期比 ▲2.6%）

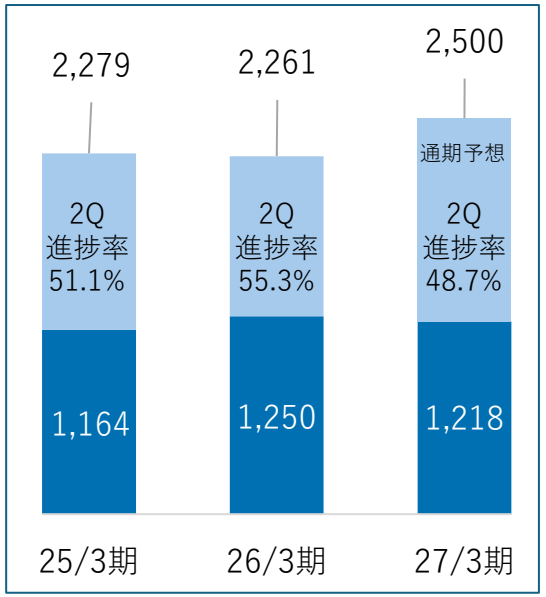
経常利益 1,104 百万円（前年同期比 ▲11.8%）

当期純利益 731 百万円（前年同期比 ▲13.9%）

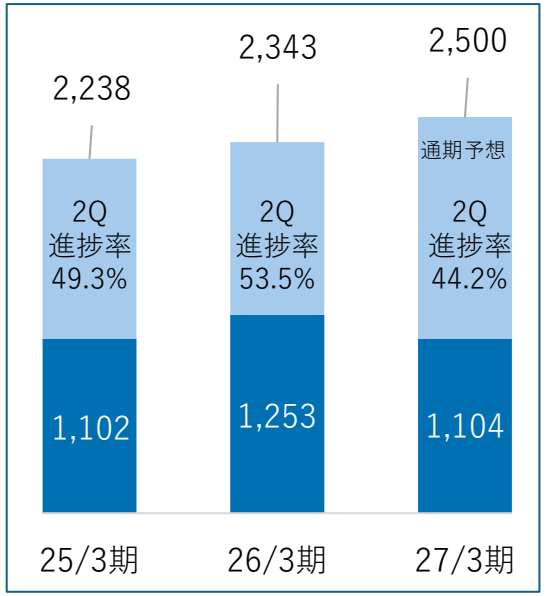
（百万円）



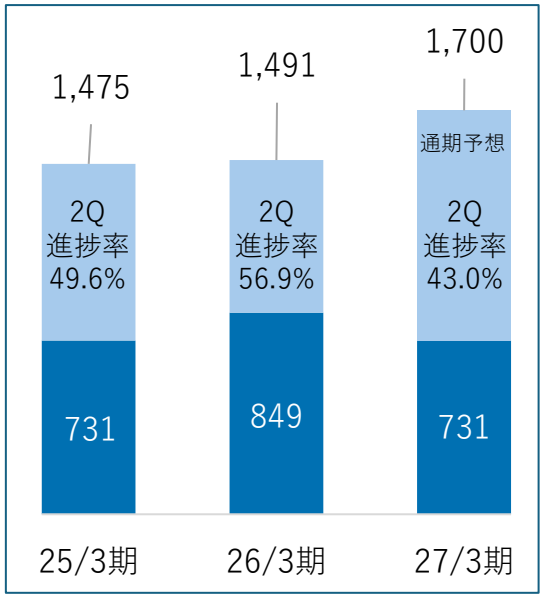
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】

※金額は百万円未満を切り捨てて表示。増減率は小数第2位を四捨五入／増減額・増減率は端数処理前の数値を基に算出しているため、表示値の差と一致しない場合がある

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

01 業績（27/3期2Q）及び通期予想

- 全体：2Q累計では増収・営業減益も、2Q（7-9月）では増収・営業増益。通期予想は据え置き
- 国内：1Qの圧砕機減少で2Q累計は減収・減益。2Q（7-9月）はアフタービジネス・林業・大型環境機械の伸長で増収転換
- 海外：前年同期比+17.4%。北米を中心に欧州・アジアも伸長し、2Q累計・2Q（7-9月）ともに増収・増益

（百万円）

	26/3期 2Q実績	27/3期 2Q実績	前年同期比 増減（額）	前年同期比 増減（%）	27/3期 通期予想	進捗率（%）
売上高	12,890	13,330	439	3.4	28,500	46.8
売上総利益	3,971	4,226	254	6.4	–	–
販売費及び一般管理費	2,721	3,008	287	10.6	–	–
営業利益	1,250	1,218	▲32	▲2.6	2,500	48.7
経常利益	1,253	1,104	▲148	▲11.8	2,500	44.2
純利益（当社株主帰属）	849	731	▲118	▲13.9	1,700	43.0
為替平均使用レート	ドル： 146円 ユーロ：166円	ドル： 160円 ユーロ：185円			ドル： 150円 ユーロ：170円	

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

01 2Q（7-9月）で収益性が大幅改善

1Q比では国内の回復、前年同期比では海外の伸長により、2Q（7-9月）の売上・利益・収益性がそろって改善

1Q（4-6月）

売上高	59.8億円	前年同期比 ▲3.0%
営業利益	3.4億円	前年同期比 ▲34.4%
営業利益率	5.7%	

2Q（7-9月）

2Qとして過去最高

73.5億円

売上高　前年同期比 +9.3%

1Q比2.6倍

8.8億円

営業利益　前年同期比 +19.8%

12.0%
営業利益率
前年同期比 +1.0pt

32.6%
売上総利益率
前年同期比 +1.7pt

売上総利益
四半期として過去最高

1Q比 ： 国内が回復
国内営業利益 2.5億円 → 6.4億円

前年同期比 ： 海外が牽引
海外営業利益 1.0億円 → 2.4億円

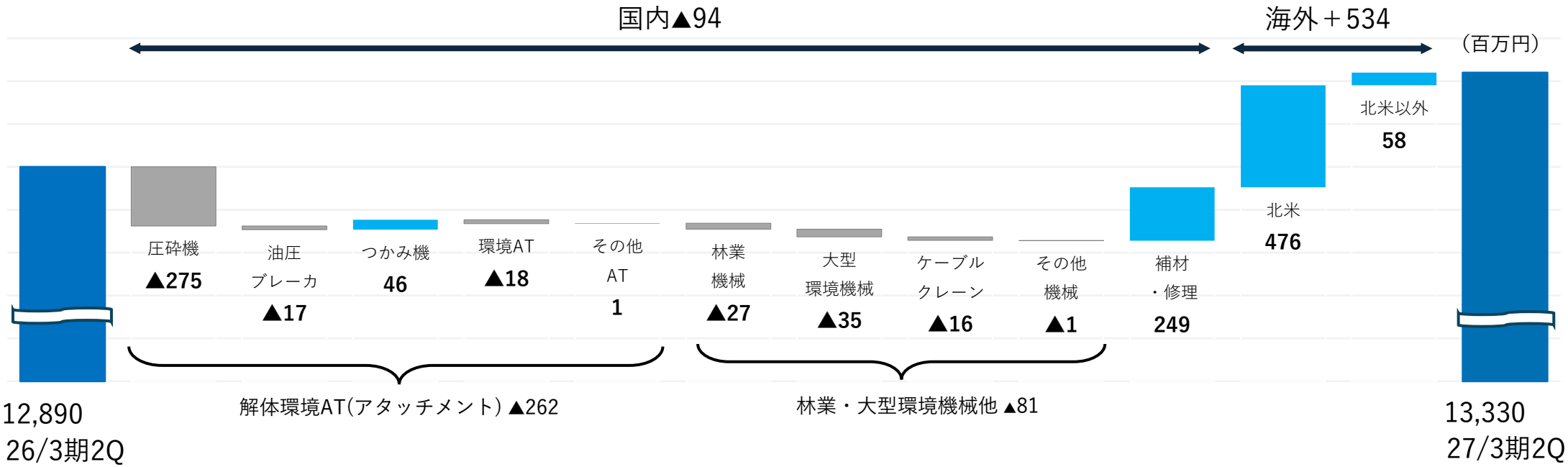
下期に向けた注目ポイント（P.12） ： 受注残（前期末比約4割増）の出荷 ／ 価格改定後の国内需要 ／ 北米を中心とする海外の動向

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 売上高増減要因（27/3期2Q）

- 国内は、圧砕機の減少をアフタービジネス（補材・修理）やつかみ機の伸長で吸収できず微減収
- 海外は、北米を中心に欧州・アジアも伸長し、その他地域の減少を吸収して増収（うち為替換算影響 約＋292百万円）

国内の足元
・圧砕機は減収も受注回復・受注残積み上がり／補材・修理+16.5%、つかみ機+7.1%
・11月の林業展で新製品を展示・実演し、林業機械・大型環境機械の拡販に注力



© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 機種別売上推移（27/3期2Q）

（百万円）

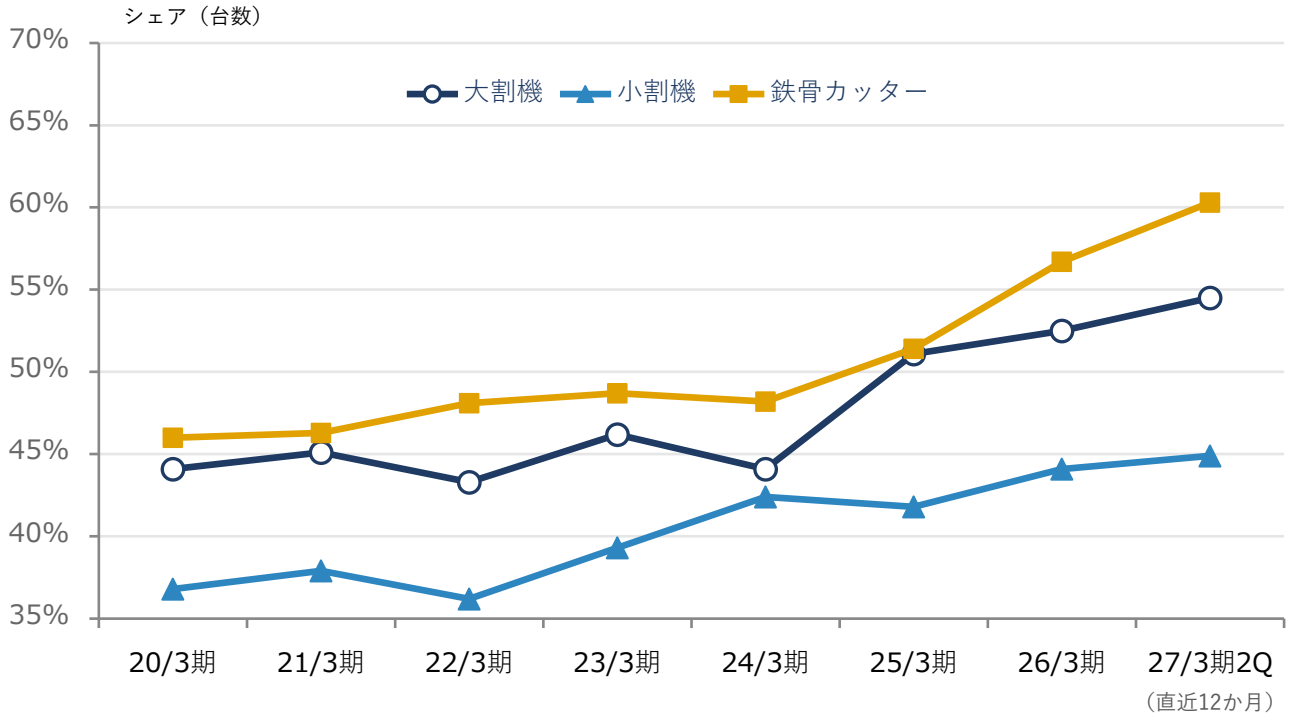
			25/3期 2Q	26/3期 2Q	27/3期 2Q	前年同期比		前々年同期比
						金額	増減（%）	増減（%）
国内	解体環境アタッチメント	圧砕機	4,648	4,605	4,330	▲ 275	▲ 6.0	▲ 6.8
		油圧ブレーカ	421	444	426	▲ 17	▲ 4.0	1.3
		つかみ機	701	659	706	46	7.1	0.7
		環境アタッチメント	279	246	228	▲ 18	▲ 7.5	▲ 18.5
		その他アタッチメント	487	622	624	1	0.3	28.2
		計	6,538	6,579	6,316	▲ 262	▲ 4.0	▲ 3.4
	林業・大型環境機械他	林業機械	878	757	729	▲ 27	▲ 3.7	▲ 16.9
		大型環境機械	256	343	307	▲ 35	▲ 10.4	19.8
		ケーブルクレーン	567	540	524	▲ 16	▲ 3.0	▲ 7.7
		その他機械	59	76	75	▲ 1	▲ 2.2	26.0
		計	1,762	1,717	1,636	▲ 81	▲ 4.7	▲ 7.1
	アフターサービスビジネス	補材	980	942	1,086	143	15.2	10.8
		修理	539	573	679	106	18.5	25.8
		計	1,520	1,515	1,765	249	16.5	16.1
国内セグメント計			9,821	9,813	9,718	▲ 94	▲ 1.0	▲ 1.0
海外	北米地域		2,369	2,107	2,583	476	22.6	9.0
	欧州地域		500	534	627	93	17.5	25.3
	アジア地域（中国含まず）		270	289	322	33	11.5	19.1
	その他		105	146	78	▲ 68	▲ 46.5	▲ 25.2
海外セグメント計			3,245	3,077	3,612	534	17.4	11.3
連結計			13,067	12,890	13,330	439	3.4	2.0

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 圧砕機等主力製品　国内シェア推移

直近12か月でも高水準を維持／機械の大型化は追い風

● 主力3製品のシェアは高水準を維持／大割機は50％台、小割機は40％台、鉄骨カッターは60％台



※ 27/3期2Qは、直近12か月（2025/10～2026/9）の台数シェアで表示
20/3～26/3期は各通期実績

■鉄骨カッター
＜解体対象：主にプラント、発電所、船舶等金属系＞



○大割機

＜解体対象：主にコンクリート製建物＞

▲小割機

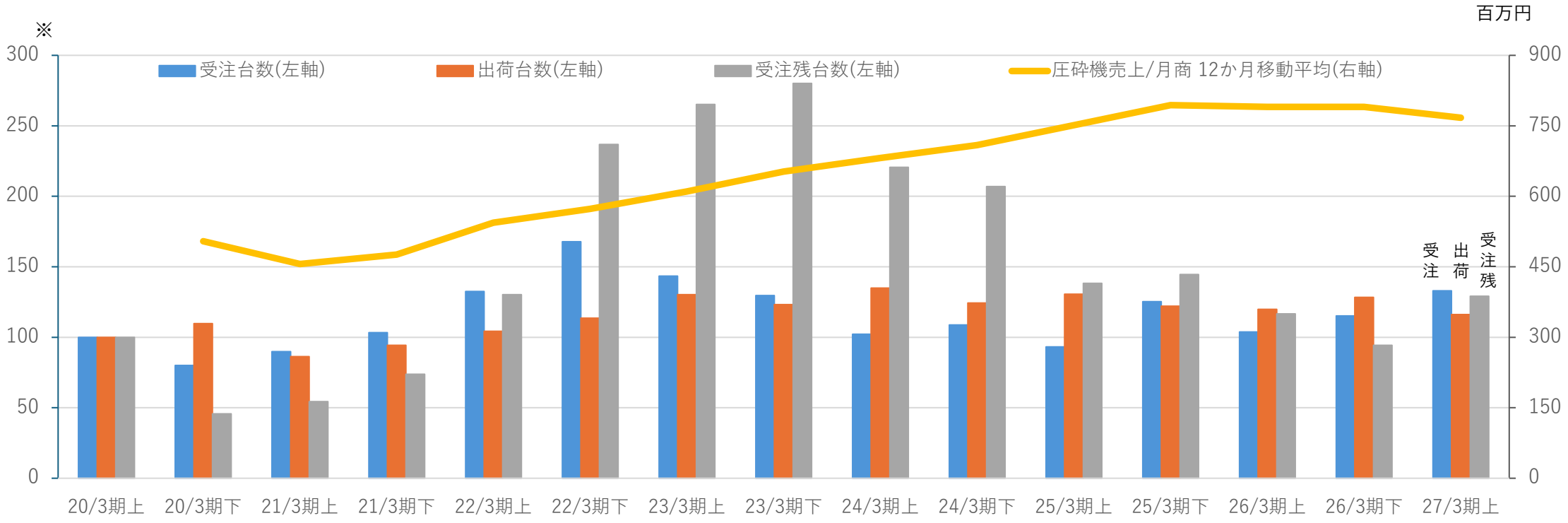
主力製品の
国内シェア
No.1

（日本建設機械工業会（CEMA）発表資料を基に当社作成／台数ベース）

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 圧砕機等主力製品　受注・出荷・売上動向

- 受注は回復、受注残は積み上がり（27/3期2Q末の受注残台数は前期末比約4割増）
- 9月末に価格改定前の駆け込み受注が発生

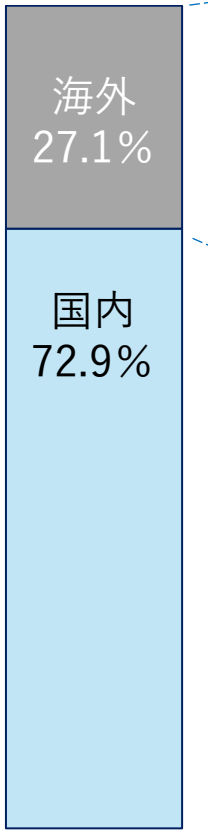


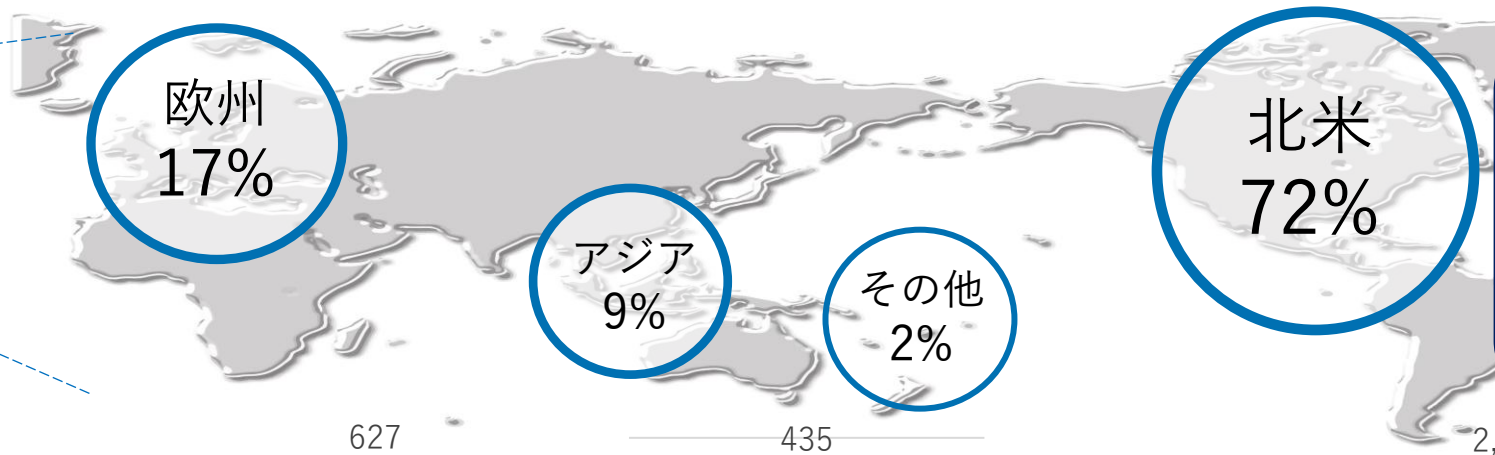
※ 受注台数・出荷台数（各半期累計）、受注残台数（各期末時点）を、20/3期上を100として指数化
・ オカダアイヨン及びアイヨンテックで製造している製品が対象
※ 圧砕機売上/月商（黄線）は、直近12か月の売上高を12で除した月商平均で表示

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 海外 地域別売上構成（27/3期2Q）

● 海外は前年同期比+17.4%と伸長。主力の北米+22.6%、欧州+17.5%、アジア+11.5%と主要3地域がそろって増収

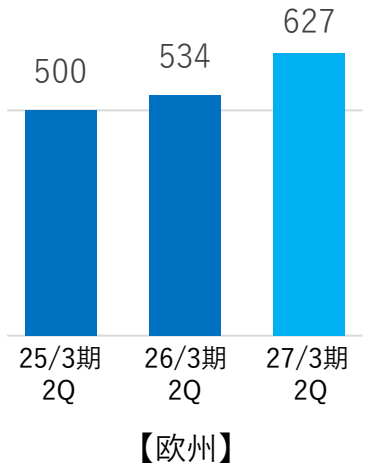




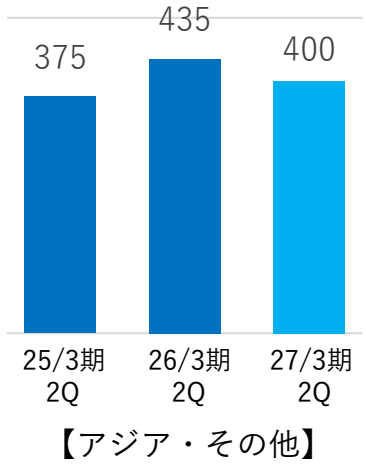
北米 伸長の背景

・レンタル需要が回復
・新規開拓が実を結ぶ
・圧砕機デモが受注へ

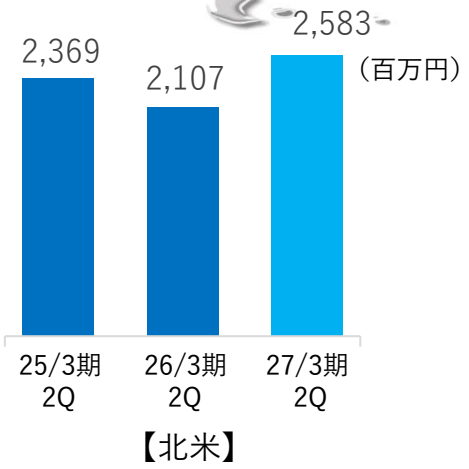
取り組みが伸長に寄与



【欧州】



【アジア・その他】



【北米】

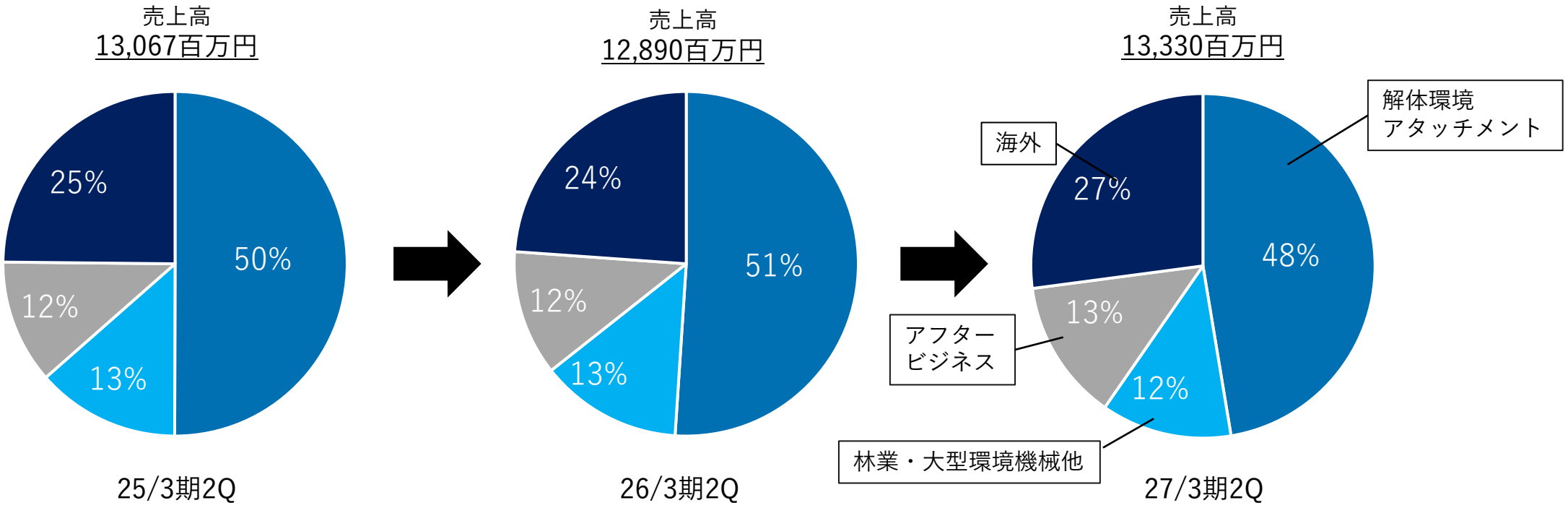
※【アジア・その他】はその他地域▲68百万円により前年同期比減少（アジアは+33百万円）／海外売上は為替換算影響 約+292百万円を含む／端数処理により構成比の合計は100%にならない場合がある

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 セグメント・事業別 売上比率推移（27/3期2Q）

● 圧砕機等の減収を背景に解体環境アタッチメントの構成比は前年同期比低下／林業・大型環境機械他も減収にて低下／
海外およびアフタービジネスの増収により両者とも比率が上昇

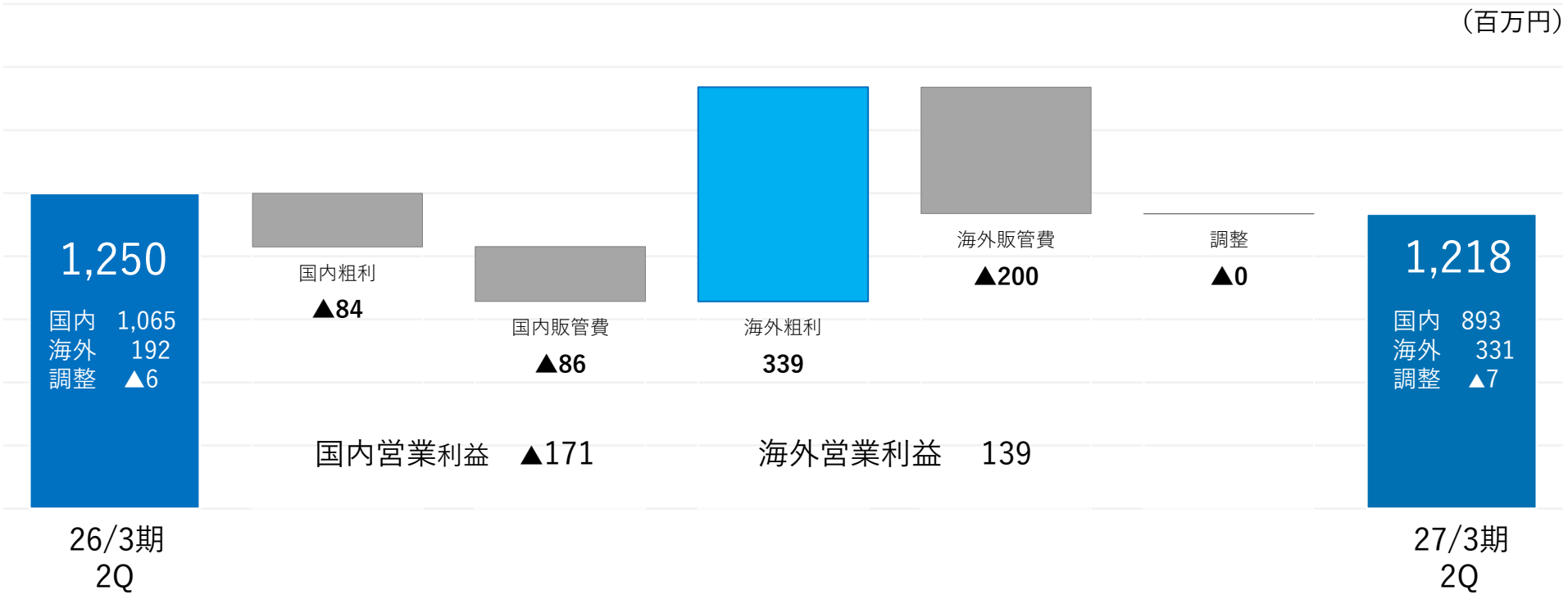
※各セグメント明細は P.6 機種別売上推移参照



© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 営業利益増減（27/3期2Q）

- 国内は、減収に伴う粗利減と、人件費・減価償却費・不動産取得税等の販管費増により減益
- 海外は、北米中心の増収により増益／全社収益を下支え



© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

02 下期に向けた注目ポイント

●2Q（7-9月）の収益性改善を踏まえ、下期は次の3点の動向に注目

① 受注残の出荷

上期の状況

- 主力製品の受注は回復
- 2Q末の受注残台数は前期末比約4割増

下期の注目点
受注残の着実な出荷

関連 P.8

② 価格改定後の国内需要

上期の状況

- 9月末に価格改定前の駆け込み受注が発生
- 補材・修理 +16.5%、つかみ機 +7.1%

下期の注目点
価格改定後の受注・需要動向

関連 P.5–8

③ 北米を中心とする海外の動向

上期の状況

- 海外売上 前年同期比 +17.4%（北米 +22.6%）
- レンタル需要回復・新規開拓・デモ機活用が寄与

下期の注目点
北米を中心とした伸長の持続性

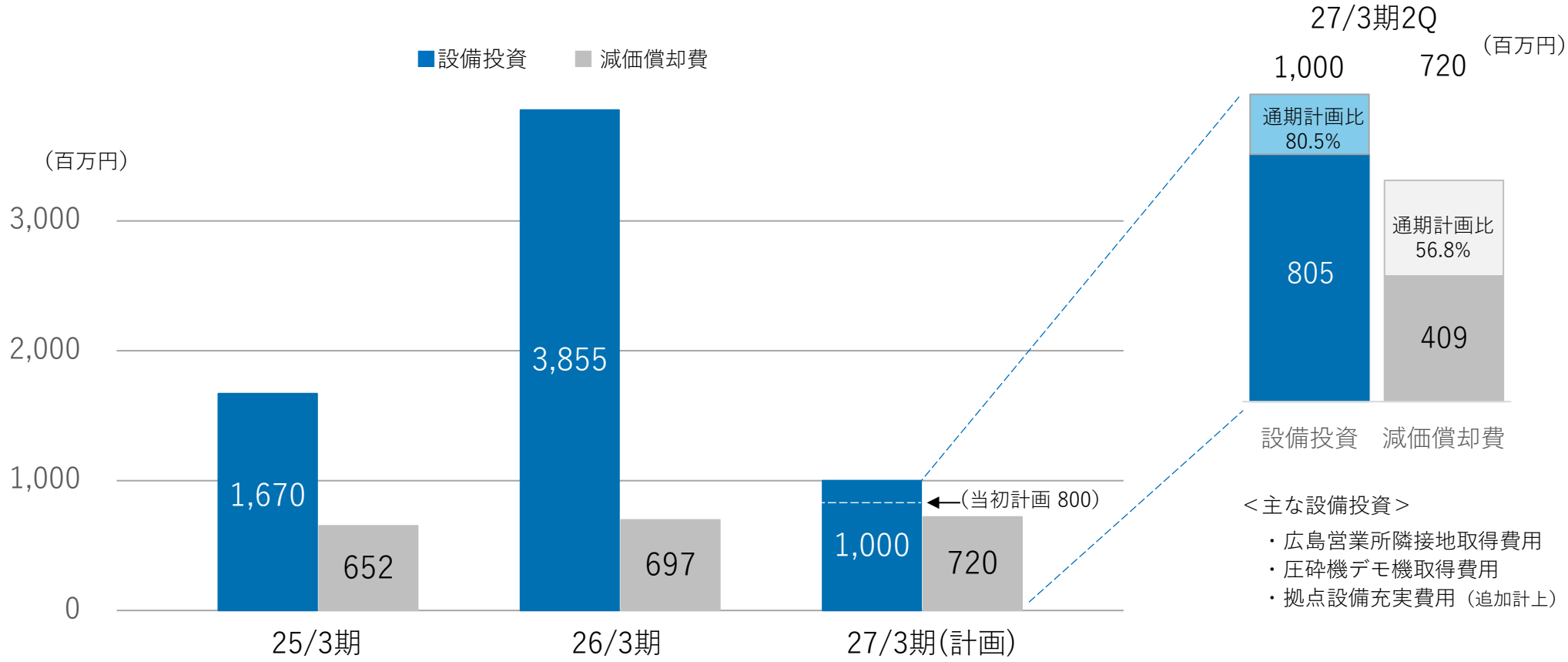
関連 P.9

通期業績予想は据え置き。上記3点の動向を注視しつつ、計画の達成に取り組む

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

03 設備投資・減価償却費実績

- 27/3期は、広島営業所隣接地取得費用、基幹システム刷新費用、そして主に海外市場をターゲットとする圧砕機デモ機取得費用等を計上。その後、拠点設備充実費用を 200百万円追加計上したことにより、設備投資額が当初計画の800百万円から1,000百万円となった。

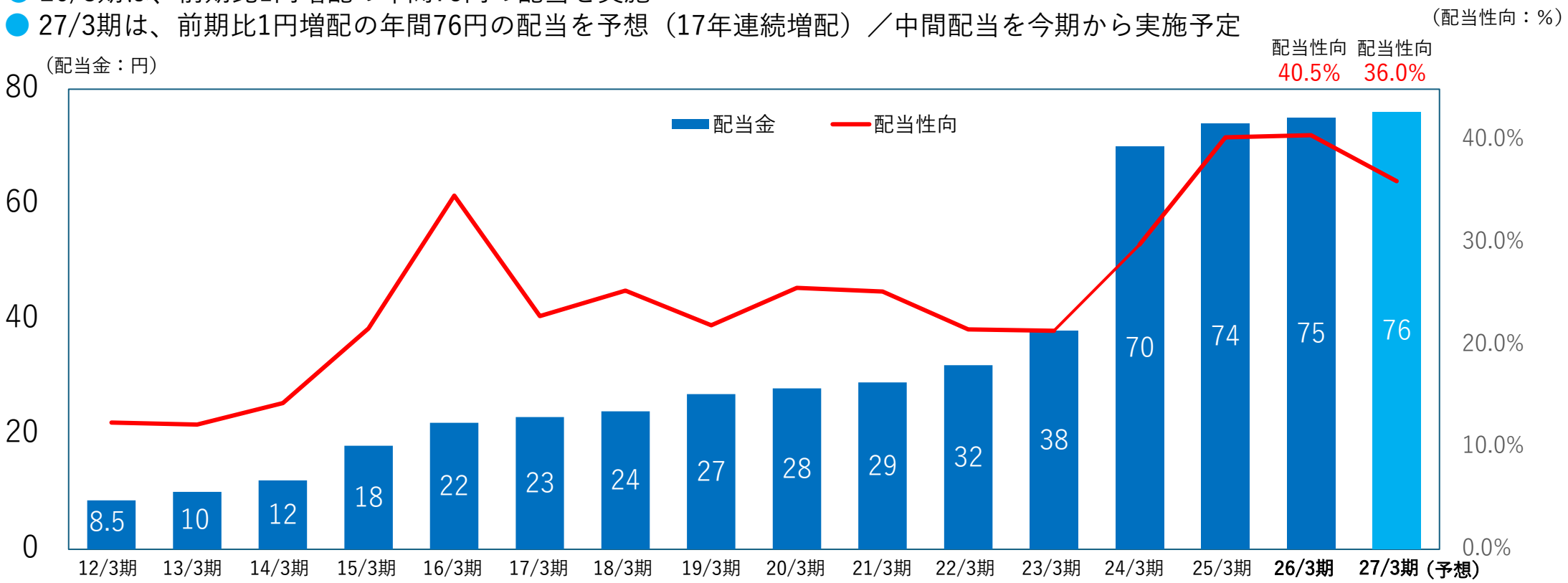


© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

03 株主還元：配当実績と計画

・配当方針：事業安定成長のもと、①累進的配当　②配当性向30%以上　を目標とする
・機動的な資本政策として、自己株式取得枠（上限20万株、8月決議）の範囲内で自己株式取得を実施予定

- 26/3期は、前期比1円増配の年間75円の配当を実施
- 27/3期は、前期比1円増配の年間76円の配当を予想（17年連続増配）／中間配当を今期から実施予定



© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

04 新中期経営計画「Onyx（オニキス）」 ― 全体像

● 「利益の質」「成長の再現性」「資本効率」を重視し、企業価値向上を目指す3か年（27/3期–29/3期）のコミットメント計画

■ Onyxの位置づけ

・長期ビジョン「新VISION30」実現に向けた基盤計画

・3年間は目標を固定する“やりきるコミットメント計画”

・アドバンテッジ・パートナーズ社（AP社）と連携し、戦略立案からKPI設計・実行管理・成果創出まで一体で推進

・計画名の由来：Onyx＝ギリシャ語で“爪”。OKADAの“O”と解体アタッチメントの重要部位“爪”に着想し、価値創造の源泉を“つかむ”意志を込める

■ 事業戦略：5つの重点テーマ

① **国内事業**：QCD強化・価格規律で収益力を強化

② **アフタービジネス**：修理・純正補材・IoTで顧客LTV最大化

③ **海外事業**：北米を核に再現性ある収益構造へ

④ **在庫管理**：見える化・KPIで在庫適正化、キャッシュ創出力向上

⑤ **新規事業・M&A**：規律ある推進で成長を加速

■ Onyxコミット目標（連結）

	26/3期 実績	27/3期 計画	28/3期 計画	29/3期 計画
売上高(百万円)	26,991	28,500	31,000	34,000
営業利益(百万円)	2,261	2,500	2,900	3,400
営業利益率	8.4%	8.8%	9.3%	10.0%
ROE	8.5%	9.1%	9.9%	10.8%

▶ 長期ビジョン「新VISION30」(2031/3期)

売上高 400億円 ／ 営業利益 40–50億円 ／ 営業利益率 10–12%
海外売上高比率 30%以上 ／メンテナンスソリューション売上高比率 20%以上

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

04 「Onyx」重点テーマの進捗変化（1Q → 2Q）

●各テーマで、準備・設計から運用・検証へ前進

重点テーマ	1Q	2Q
① 国内事業	価格改定計画を準備 価格規律づくりが前進	販売価格を順次改定 実行段階へ
② アフタービジネス	補材価格改定を決定 指定サービス工場への働きかけを強化	指定サービス工場との連携強化 工賃・純正補材の価格見直し 修理・保守パッケージを検討
③ 海外事業	北米は大型好調で目標水準を確保 特定地域で売り方を試行	北米で4つの成長戦略を設定 戦略別・地域別の実績を月次で可視化
④ 在庫管理	在庫の見える化と KPIづくりが前進	一部機種を受注生産へ切替 適正在庫水準を再設定し、在庫把握を精緻化
⑤ 新規事業・M&A	特記事項なし	M&Aの検討基準を策定し、運用開始

5つの重点テーマすべてが実行段階へ／検証を重ね、施策の精度を高める

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、
当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に
基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます
従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは
保証するものではありません

オカダアイヨン

お問い合わせ
オカダアイヨン株式会社
IR・広報チーム
soumu@aiyon.co.jp
https://okadaaiyon.com

© 2026 OKADA AIYON CORPORATION